

2025年9月作成

(2025年6月末基準)

対象ファンド
【外国債券等】

 **MUFG** 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

プロダクトガバナンスレポート

公募ファンドの運用について



● ごあいさつ	2
---------	---

● 会社体制(会社情報・各種ガバナンス体制)

経営ビジョン／プロダクトガバナンス・ポリシー	3
コーポレートガバナンス体制	4
純資産総額／会社収益	5
運用哲学／運用体制	6
開示・情報提供に関する取り組み	7
バリューマネジメント活動	8
ファンド提供価値の評価・改善対応フロー	9

● カテゴリごとのファンド運用状況

当レポートでご報告するファンドについて	10
01 外国債券・世界型	11
02 外国債券・世界型(円ヘッジ)	12
03 外国債券・世界型(除く日本)	13
04 外国債券・世界型(除く日本、円ヘッジ)	15
05 外国債券・米国型	17
06 外国債券・米国型(円ヘッジ)	18
07 外国債券・欧州型	19
08 外国債券・オセアニア型	20
09 外国債券・単一国/地域	21
10 外国債券・ハイイールド型・グローバル	22
11 外国債券・ハイイールド型・グローバル(円ヘッジ)	23
12 外国債券・ハイイールド型・米国	24
13 外国債券・ハイイールド型・米国(円ヘッジ)	25
14 外国債券・ハイイールド型・欧州	26
15 外国債券・ハイイールド型・欧州(円ヘッジ)	27
16 外国債券・バンクローン型	28
17 外国債券・バンクローン型(円ヘッジ)	30
18 外国債券・新興国型・グローバル	32
19 外国債券・新興国型・グローバル(現地通貨建て)	33
20 外国債券・新興国型・グローバル(円ヘッジ)	34
21 外国債券・新興国型・アジア	35
22 外国債券・短期型	36
23 外国債券・転換社債型	37
24 外国債券・転換社債型(円ヘッジ)	38
25 債券・その他	39



ごあいさつ

私たちの経営ビジョン「あなたと社会」の豊かな未来に貢献する”には、お客さまの資産形成・資産運用に貢献したい、持続可能な社会の実現に貢献したい、という想いを込めています。

私たちは、当社が果たすべきフィデューシャリー・デューティーを常に探求していく不断の取り組みこそが、“お客さまの資産形成・資産運用や持続可能な社会の実現に貢献する”ことに繋がるとの考えから、フィデューシャリー・デューティーを当社役職員に求められる思考様式・行動様式として位置づけ、全役職員でこれに取り組んでいます。

商品・サービスの更なる向上に向けた取り組みの進捗状況や、社員研修によるお客さま本位の姿勢の定着度合いなどをモニタリングするため、フィデューシャリー・デューティー推進委員会を定期的で開催しています。

また、当社では取締役会傘下にフィデューシャリー・デューティー/プロダクトガバナンス諮問会議を設置しており、本諮問会議を社外取締役主体の会議体とすることで、監督的な視点を強化し、プロダクトガバナンスだけでなくフィデューシャリー・デューティーの取組状況のモニタリング等にまでテーマを拡げることにより、お客さま本位の業務運営やプロダクトガバナンスに関する取り組みの更なる深化を進めております。

当レポートは、当社のプロダクトガバナンス態勢についてご説明することに加えて、プロダクトガバナンスの視点で、当社が設定・運用する公募ファンドについて、お客さまにコストに見合うリターンを提供できているか、商品性に合致した運用が継続可能か等を定期的に検証し、個別ファンドごとに品質管理を行った結果をご報告させていただくものです。

お客さまや社会が求める未来は、価値観や時代などに応じて変化しますが、私たちは、いつの時代も資産運用を通じてより良い未来づくりにアセットマネジメント会社として貢献してまいりたいと考えております。

引き続き、三菱UFJアセットマネジメントをご愛顧賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

取締役社長
横川 直



経営ビジョン／プロダクトガバナンス・ポリシー

当社が投資信託を通じ、お客さまの大切なご資金をお預かりするという役割の重要性と、社会に果たすべき責任を踏まえ、当社の“社会における存在意義”を定義した「経営ビジョン」を定めています。経営ビジョンを企業活動の拠り所としながら、特に投資信託をご活用いただくお客さまの目線に立った商品・サービスの提供・品質向上に向けて重視する事項を「プロダクトガバナンス*・ポリシー」として定め、お客さま本位の業務運営に取り組んでいます。

*「プロダクトガバナンス」とは、お客さまへ良質な商品（プロダクト）・サービスを提供するために、商品の組成・運用において適切な運営・モニタリング・品質管理を行うことを指します。

経営ビジョン

社会においてこうありたいという第三者的な視点に立ち、資産運用を社会インフラのひとつとして根付かせ、資産運用の拡大と共に成長していくとの想いを経営ビジョンとして策定しています。

「あなた」と「社会」の豊かな未来に貢献する

わたしたちは、資産運用を通じて「あなた」と「社会」をつなぎ、より良い未来に貢献します。

三菱UFJアセットマネジメントは、プロフェッショナルとして、お客さまの大切なご資金を運用する資産運用会社です。わたしたちの「経営ビジョン」には、お客さまの資産形成・資産運用に貢献したい、持続可能な社会の実現に貢献したい、という想いが込められています。

プロダクトガバナンス・ポリシー

プロダクトガバナンスにおいて、お客さまの目線を重視する考え方のもと、大切にしていること、重視していることを「商品性」「運用管理」「開示」の3つの側面からポリシーとして制定し、更なる品質向上に取り組んでいます。



商品性

現在および将来、当社の投資信託を保有いただくお客さまのニーズに沿った最適な商品の組成・提供を目指します

- 提供価値（ファンドの目的・特色）の明確化



運用管理

お客さまにご負担いただくコストに見合うリターンを確保できているかモニタリングすることにより、投資信託を通じた提供価値の維持を目指します

- 信託報酬（運用管理費用）等控除後の運用成果のモニタリングを徹底
- 運用成果の追求に向けた取組みの徹底
- ファンドの目的・特色が十分提供できていない場合、適時適切に対応



開示

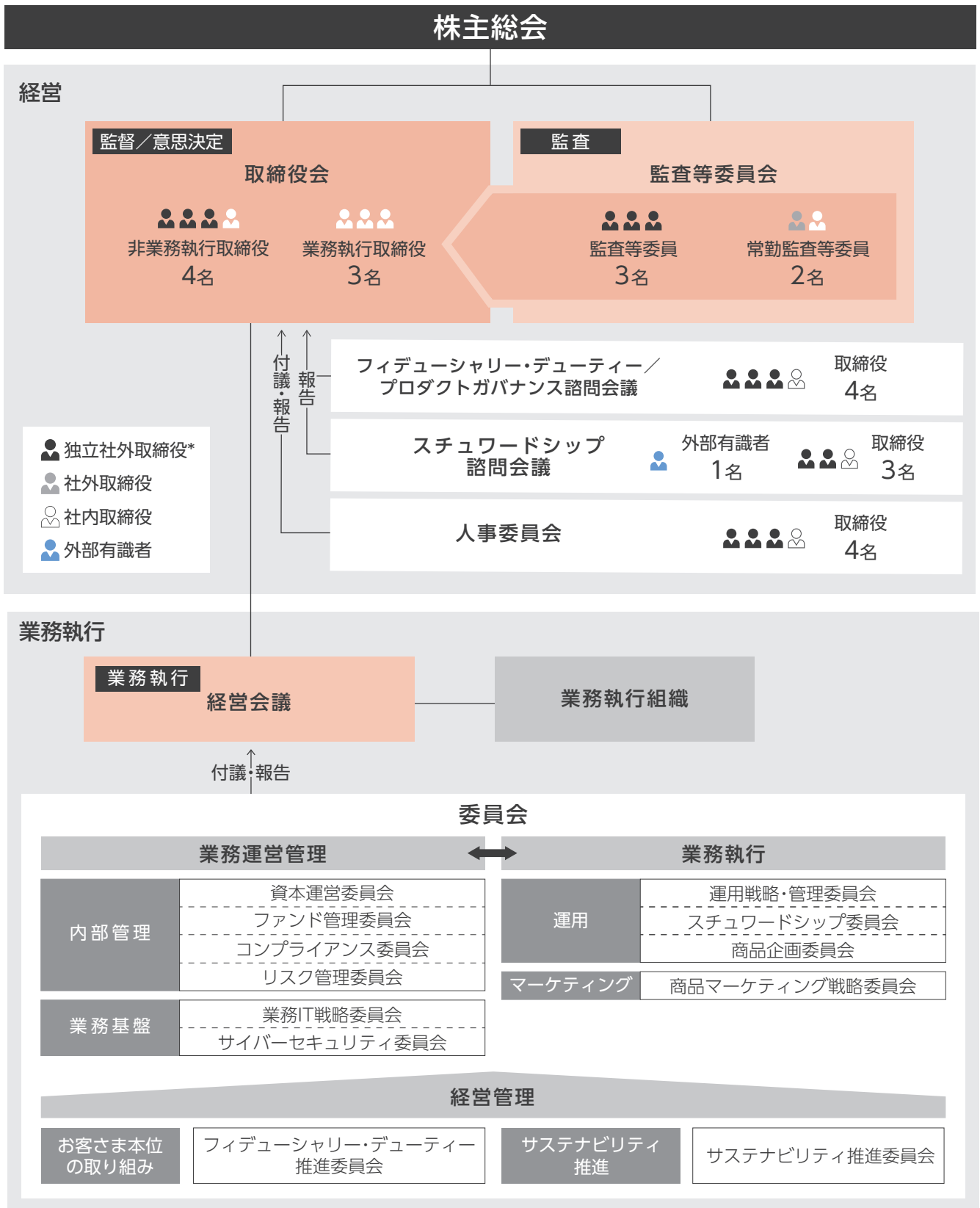
お客さまの投資判断に必要な情報をご理解いただきやすく提供することを目指します

- 正確な情報をわかりやすく提供
- 様々な手段・方法で、タイムリーに情報を提供

コーポレートガバナンス体制

適切なプロダクトガバナンスには、適切なコーポレートガバナンス体制が必須条件と考えております。当社では経営の監督・意思決定を行う取締役会と、それを監査する監査等委員会のもと、経営会議傘下で業務執行に当たっています。外部目線の導入が特に必要と考える会議体には、社外取締役・外部有識者に参加いただき、コーポレートガバナンスの高度化に努めています。

2025年9月末 現在

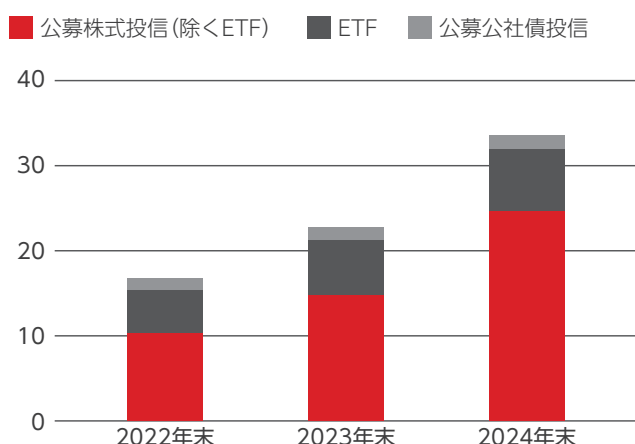


(*) 当社で定める「社外取締役の独立性判断基準」に基づき当社から独立性を有している社外取締役

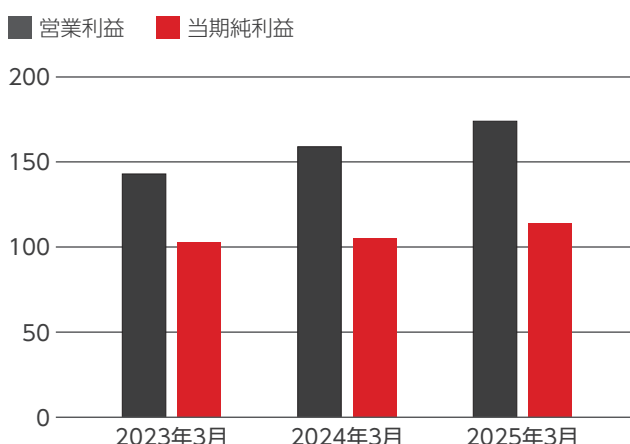
純資産総額／会社収益

ファンド運営の前提となる会社の継続性に関しまして、当社ファンドへのお客さまからのご支持に加えて資産運用の浸透・拡大も受け、2024年末時点の当社公募投資信託純資産総額は33.5兆円となりました。また、収益状況は安定的に推移しております。

当社公募投資信託純資産総額の推移(兆円)



当社収益状況の推移(億円)



TOPICS

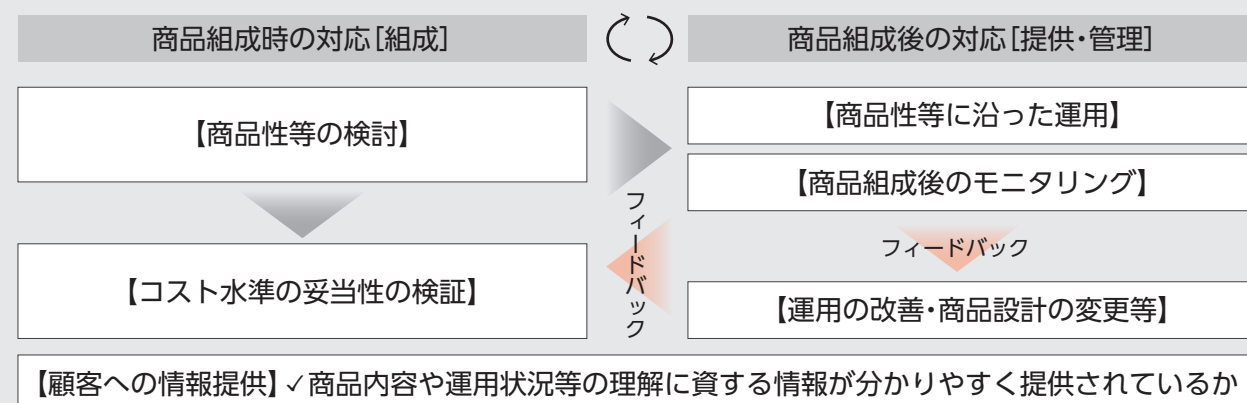
●フィデューシャリー・デューティー／プロダクトガバナンスの深化に向けた取組状況

当社では、フィデューシャリー・デューティー(お客さま本位の業務運営)とプロダクトガバナンス(商品の組成・運用に対する適切な運営・モニタリング・品質管理)を更に深化させるべく、関連する取り組みの高度化・改善に継続して取り組んでいます。

取り組みの深化にあたって、独自の課題認識に基づくアクションに加え、資産運用業の高度化に向けて金融庁が発行する「プログレスレポート」を自社サービスを客観的に見直す材料としています。

今年6月に公表された「資産運用サービスの高度化に向けたプログレスレポート 2025」では、プロダクトガバナンスの高度化に関連し、商品設計(運用目標・想定リスク等の設定、コスト水準に係る検証)や組成後の品質管理(モニタリング、運用改善・商品設計の変更等)の各段階を通じて適切な品質管理が必要と言及されています。各段階の着眼点ごとに「工夫がみられる事例」及び「課題と考えられる事例」について紹介されており、これらを参考に、プロダクトガバナンスの更なる高度化の取り組みを進めて参ります。

●プログレスレポートで紹介されたプロダクトガバナンスにおける着眼点



※イメージ図は、金融庁「資産運用サービスの高度化に向けたプログレスレポート 2025」より一部抜粋

運用哲学／運用体制

当社の運用プロフェッショナルが、付加価値の創造、的確なリスク管理、規律ある運用プロセスなどの運用哲学に基づき、投資いただいているお客さまに最良の投資成果をお届けできるように努めています。運用部門では、お客さまに良質な商品を継続的に提供すべく、組織的かつ各運用者が高いオーナーシップを発揮する運用体制を構築し、サステナブル投資の観点からも社会課題解決に資するスチュワードシップ活動に取り組んでおります。また、株式や債券のような伝統的資産からの運用ニーズの多様化が進む中、証券化商品などクレジット領域を担うクレジット運用部の昨年の設立に続き、プライベートアセット領域を担うプライベートアセット運用部を新設(2025年7月1日付)しており、運用のケイパビリティ拡充を推進しております。

お客さまにご満足いただける投資成果を安定的かつ継続的に提供することを目指しています。

運用哲学

01 付加価値の創造

最良の運用成果を得るためには、徹底した調査・分析と適切な運用判断による付加価値の創造が必要です。私たちは、徹底した情報収集、詳細な分析、適切な判断を通じて付加価値の獲得を目指します。

02 的確なリスク管理

運用においては、意図したリスクを取り、意図しないリスクを排除することが必要です。私たちは、的確なリスク管理を実践し、効率的に付加価値の獲得を目指します。

03 規律ある運用プロセス

規律と一貫性のあるプロセスが、運用の質的向上につながります。私たちは、チームワークを重視し、かつ「Plan→Do→See」に裏打ちされた規律あるプロセスによって、運用の一貫性を確保します。

04 適切な情報開示

お客さまに信頼していただきながら、ご期待に沿った資産運用を行うためには、情報の開示が不可欠です。私たちは、運用の状況と運用に対する考え方を適切にお伝えすることにより、お客さまの信頼獲得を目指します。

運用体制

(2025年9月末現在)

運用部門					
部門長 高鍋 朗 運用経験年数 31年					
	運用部	運用責任者 (運用経験年数)	運用対象	FM人員 (運用経験年数)	担当運用資産 (十億円)
運用担当	戦略運用部	加納 良樹 (28年)	主としてバランス型ファンド・計量的手法等を利用したファンドの運用	19名 (平均12年)	512
	株式運用部	森 博 (28年)	主として内外株式の運用	45名 (平均18年)	1,191
	債券運用第一部	氏原 圭作 (36年)	主として内外債券の運用	9名 (平均22年)	493
	債券運用第二部	古田 憲司 (27年)	主として内外債券の運用	23名 (平均13年)	3,569
	クレジット運用部	永田 幸佐 (17年)	主としてクレジット関連商品の運用	4名 (平均8年)	5,174
	インデックス運用部	荻野 太陽 (17年)	主として全資産のインデックス運用	24名 (平均9年)	32,554
	外部委託運用部	笹井 泰夫 (29年)	主として外部運用会社との提携ファンドの運用	36名 (平均8年)	7,808
運用企画部	運用に関する施策企画、運用モニタリングおよびファンドマネジャーのパフォーマンス評価				
サステナブル投資推進部	サステナブル投資に関する業務および施策企画				
プライベートアセット運用部	主としてプライベートアセットの運用・企画・調査				
トレーディング部	有価証券等の発注およびファンド余資運用				
商品開発部	商品開発に関する企画立案、投資信託等に関わる商品開発および分配金・償還・品質維持・品質改善管理、商品関連契約				

※上記数値は2025年6月末時点で集計。国内籍の公募および私募投信、投資一任・投資助言を対象に集計。助言は投資助言の内容・範囲等にかかわらず、顧客資産の額(契約簿価)を前提とした契約を集計

開示・情報提供に関する取り組み

プロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、お客さまの投資判断に必要な情報をご理解いただきやすく提供することを目指して、各種開示・情報提供に取り組んでおります。個別ファンドの運用状況に関する定期的・日常的な情報提供について、適時・適切な実施に努めているほか、開示・情報提供に関する、全社的あるいはファンドを横断した高度化・拡充についても取り組みを進めております。当ページではそれらの取り組みの一例をご紹介します。

取り組み事例 当社が考える各商品の購入を想定するお客さま

- 2025年3月、ホームページへ、当社が考える各商品の購入を想定するお客さまに関する情報の掲載を開始しました。
- 商品に、商品理解の難易度などに基づいたランクを付与し、その商品の購入を想定するお客さまを、投資経験や投資知識の観点から4つに分けてご案内しており、これにより、お客さまの商品選びのお手伝いができるものと考えています。
- なお、当社が主に、投資経験および投資知識が十分にあるお客さまの購入を想定している、商品リスクのランクが高いと考える商品については、対象商品のリストを併せて掲載し、ご判断の参考となるようにしています。

当社が考える、各商品の購入を想定するお客さまについて

商品を組成する3資産IFアセットマネジメントでは、商品理解の難易度などに基づいて分類した商品リスクランク（詳細ページ）に応じて、その商品の購入を想定するお客さまを、投資経験や投資知識の観点から4つに分けてご案内しております。

具体的には、「A. 投資経験がない方」「B. 投資経験がないが投資知識※により購入される方」「C. 投資経験がある方、または投資知識がある方」「D. 投資経験および投資知識が十分にある方」の4つになります。

※ 投資知識とはつみたて投資などによる購入を想定しています。

下記の図にて、各商品リスクランクの中心のついている箇所にはお客さまが、当社がその商品の購入を想定しているお客さまになります。

なお、当社は、主に商品選択型（対象資産と通貨コースが異なるもの）などの商品理解の難易度が相対的に高いと考えられる商品などを、商品リスクランク「3」としています。

ご参考：商品リスクランクについて

商品リスクランクは当社が価格変動リスクおよび商品理解の難易度から判定しております。各商品リスクランクのイメージは以下の通りです。

商品リスクランク「1」

変動性が低く、かつ、投資家が新聞（一般紙）を読むことなどにより、補足説明がなくても商品性が概ね理解できると考えるファンド。主に、国内債券、先進国債券（為替ヘッジ付き）などを投資対象とするファンドです。

商品リスクランク「2」

変動性が一般的なリスク資産（株、為替）と同程度で、自己の知識と、資料等の補足情報を得ることによって商品性が理解できると考えるファンド。商品リスクランク「1」または「3」以外の商品になります。

商品リスクランク「3」

変動性が相対的に高いと判断され、販売員からの補足説明を得ることにより商品性が理解できると考えるファンド。主に通貨選択型（対象資産と通貨コースが異なるもの）や、レバレッジ取引（先物取引等を利用し、投資金額の数倍の取引を行うこと）を行うファンドなどが該当します。

当社が主に、投資経験および投資知識が十分にあるお客さま（区分D）の購入を想定している、商品リスクランク「3」の主なファンドは以下の通りです。

投資経験または投資知識が十分ではないとお考えのお客さまは、ご購入の際は、慎重なご判断が必要（ご購入に適さない可能性があると）と考えております。

各商品の購入を想定するお客さまに関する情報
<https://www.am.mufg.jp/corp/policy/matrix.html>

取り組み事例 AI（人工知能）を搭載したチャットボットサービス開始

これまで、電話、インターネット、よくあるご質問(FAQ)を通じてお客さまのお問い合わせにお応えしてまいりましたが、お客さまの自己解決ニーズの高まりを受け、さらに充実したサポート体制を構築するため、2025年3月から、新たなサービスとしてお客さま問い合わせチャンネルに「チャットボット*」を導入しました。本サービスの導入により、24時間365日、当社ホームページ上でお客さまからの問い合わせに自動で即時回答が可能となります。

なお、チャットボットには生成AIによる応対品質の改善機能を搭載しております。検索ログからお客さまにとって「役に立たなかった」回答を抽出し、その回答に対する改善提案をAIが自動で作成し、応対品質の改善につなげます。AI技術を活用した改善サイクルを構築することで、サービス開始後も回答精度を継続的に高めるとともに、さらなる利便性向上を目指し、お客さまニーズにお応えできるよう努めてまいります。

*チャットボット(Chatbot)とは、「チャット(会話)」と「ロボット(bot)」を組み合わせた言葉で、会話形式で問い合わせに自動応答するツールのことです。

バリューマネジメント活動

プロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、ファンド提供価値の維持・向上へ継続的に取り組んでいます(バリューマネジメント活動)。運用・商品担当部署においてはファンドの各種運営とともに、ファンドの品質管理・改善を自律的に行っております。それに加え、バリューマネジメント統括部署においてファンド提供価値の評価を行い、必要に応じて運用あるいは商品性の改善を促すなど、お客さまの信頼に応える商品提供を心掛けております。

お客さまの信頼に応える商品提供

バリューマネジメント活動 (ファンド提供価値の維持・向上への取り組み)

運用・商品担当部署による 自律的な品質管理

運用状況のモニタリング・
商品性の確認



日常的な品質改善

バリューマネジメント統括部署が 指揮する組織的な品質管理

ファンド提供価値の評価



要改善ファンドの改善*・
フォローアップ

*改善策の立案・実行はバリューマネジメント統括部署からの指示に基づき、運用・商品担当部署が行います。



ファンド提供価値の評価・改善対応フロー

当社が設定・運用する公募ファンド(MRF、単位型を除く)を対象に、ファンド提供価値の評価を行います。その結果、運用や商品性に改善を要すると考えられるファンド(要改善ファンド)については改善策を策定します。ファンド提供価値の評価・改善対応は以下のフローに基づいて行っており、当レポートでは、評価結果および改善対応の状況についてご報告いたします。

STEP 01

パフォーマンス評価

- 当社が設定・運用する公募ファンド(MRF、単位型を除く)について、コスト控除後のリターン*¹を用いて、当社ファンドと同じカテゴリ*²に所属する競合他社ファンドのなかでの相対的な順位を確認します。
- 競合他社ファンドとの比較は5年、10年、設定来などの複数期間*³で行います。

*1 お客さまにご負担いただくコストに見合うリターンを確保できているか確認するため、分配金再投資換算の基準価額を使って信託報酬(運用管理費用)等控除後のリターンを算出します。

*2 恣意性を排除するため、外部評価機関であるMorningstarによるモーニングスター・カテゴリを使用します。モーニングスター・カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

*3 インデックスファンドについては、特定指数と同じ値動きを目指す商品性であること等から、対象指数との期間1年の連動性も含めて評価します。

STEP 02

ファンド提供価値の評価

- STEP1のパフォーマンス評価において、パフォーマンスの相対順位が一定水準以下となる競合他社比で劣後しているファンドについて、多角的な視点からより詳細な分析を行います。
- パフォーマンスの要因やコスト対比リターン、商品性などの分析を行い、お客さまにご負担いただいたコストに見合うリターンが提供できているか、商品性に合致した運用が継続可能かなどの観点からファンド提供価値を評価します。

STEP 03

要改善ファンドの特定・改善策の検討

- STEP2の分析により、運用や商品性に改善すべき課題が特定された場合には、ファンド提供価値の向上を目的として、当該課題を解決すべく改善策を検討します。

STEP 04

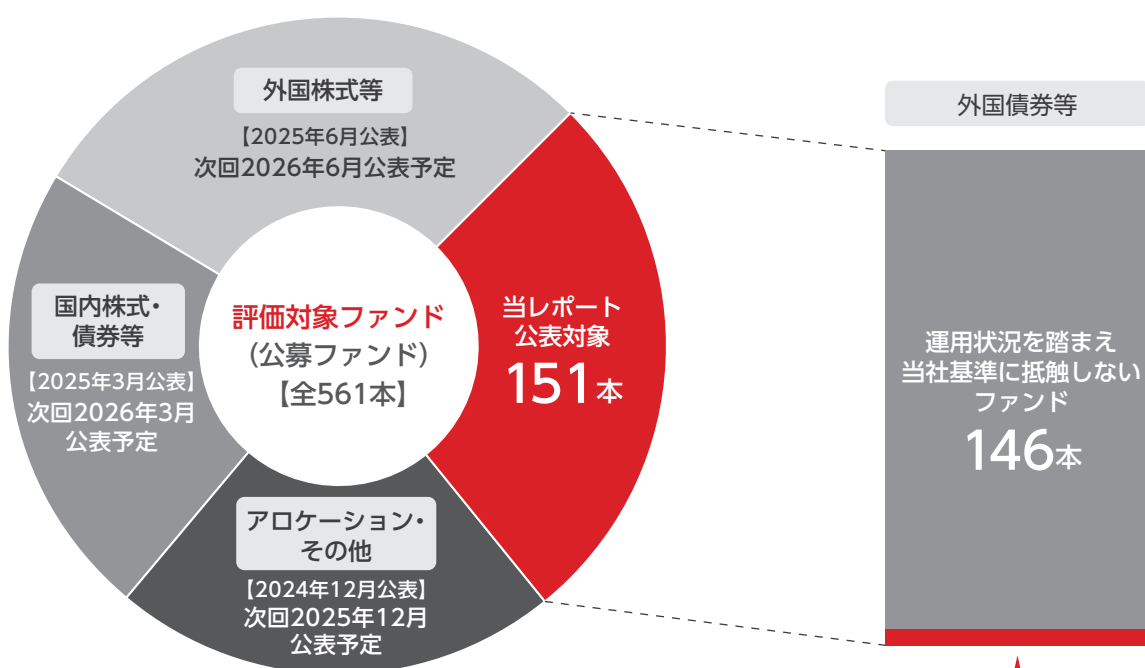
要改善ファンドのフォローアップ

- STEP3で策定した改善策が効果を発揮し改善が図られているかモニタリングを行い、お客さまに十分な価値提供ができているか確認できるまでフォローアップを継続します。
- 改善策やその後の進捗状況については、当レポートでお客さまに開示します。

当レポートでご報告するファンドについて

当レポートでは評価対象ファンドを「国内株式・債券等」、「外国株式等」、「外国債券等」、「アロケーション・その他」の4つに分類し、各分類ごとに順次公表いたします。今回は「外国債券等」に分類する151本のファンドを対象とし、評価した結果、以下5本のファンドについて要改善ファンドに該当すると判断いたしました。分析結果や改善に関する取り組み状況については、モーニングスター・カテゴリ別に次ページからご説明いたします。

- ※「国内株式・債券等」、「外国株式等」、「外国債券等」、「アロケーション・その他」の分類はモーニングスター・カテゴリを基に当社が行います。モーニングスター・カテゴリで外国債券、債券・その他に属するファンドを「外国債券等」に分類しています。
- ※各ファンドの分析はモーニングスター・カテゴリ内における比較により行います。各ファンドの所属カテゴリや公表予定時期については当社ホームページ内[プロダクトガバナンスレポートページ](#)上のエクセルファイルをご確認ください。
- ※モーニングスター・カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。



要改善ファンド5本

ファンド名	設定日	掲載ページ
三菱UFJ ヘッジ付外国債券オープン	2012/07/20	16
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2014/05/27	29
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	2014/05/27	29
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2014/05/27	31
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	2014/05/27	31

※2024年9月定期レポート(外国債券等)にて報告した要改善ファンドのうち、以下の2ファンドについては、下記の理由により当レポートにおける要改善ファンドには該当しておりませんので、お知らせいたします。

- グローバル・ボンド・ニューマーケット(毎月決算型) (愛称:星こよみ):2025年1月に繰上償還済みのため。
- 世界投資適格債オープン(為替ヘッジあり) (毎月決算型): 2025年3月に満期償還済みのため。

01 外国債券・世界型

対象ファンド数 当社16ファンド/業界全体74ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド16本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
▲3.3	5.2	5.1	2.1	1.31

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

特定の通貨等に偏ることなく、世界の投資適格債券を主な投資対象とする。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(年2回分配型)	2014/05/21	76	—	■
2	PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(毎月分配型)	2014/05/21	308	—	■
3	外国債券アクティブファンドセレクション(ラップ専用)	2019/01/28	18	—	■
4	グローバル・インカム・フルコース(為替ヘッジなし)	2019/03/04	7	—	■
5	グローバル債券・プレミアム・セレクション(SMA)	2025/06/06	17	—	■
6	グローバル・ソブリン・オープン(1年決算型)	2002/03/05	29	—	■
7	グローバル・ソブリン・オープン(3ヵ月決算型)	1997/12/18	160	—	■
8	グローバル・ソブリン・オープン(DC年金)	2002/09/30	30	—	■
9	グローバル・ソブリン・オープン(資産成長型)〈愛称:グロソブN〉	2013/11/15	21	—	■
10	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1997/12/18	2,467	—	■
11	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(年2回決算型)	2017/10/02	474	—	■
12	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	2017/10/02	364	—	■
13	三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(年1回決算型)〈愛称:花こよみ年1〉	2013/12/16	172	—	■
14	三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)〈愛称:花こよみ〉	2003/07/09	767	—	■
15	三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(年1回決算型)〈愛称:グローバル・トップ年1〉	2017/01/23	5	—	■
16	三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)〈愛称:グローバル・トップ〉	2010/02/18	336	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。

※各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・世界型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

02 外国債券・世界型(円ヘッジ)

対象ファンド数 当社10ファンド/業界全体108ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド10本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
0.5	▲0.7	▲2.7	▲1.4	1.14

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

特定の通貨等に偏ることなく、世界の投資適格債券を主な投資対象とする。原則として日本円以外の通貨は為替ヘッジを行う。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	eMAXIS 債券バランス(2資産均等型)	2015/08/27	2	—	■

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>(年2回分配型)	2014/05/21	15	—	■
2	PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>(毎月分配型)	2014/05/21	34	—	■
3	グローバル・インカム・フルコース(為替リスク軽減型)	2019/03/04	5	—	■
4	国際機関債オープン(為替ヘッジあり)	2010/11/15	40	—	■
5	国内債券セレクション(ラップ向け)	2017/03/13	864	—	■
6	世界プレミア企業債券ファンド(為替ヘッジあり)(愛称:プレミア・コレクション)	2016/01/29	144	—	■
7	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>(年2回決算型)	2017/10/02	97	—	■
8	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>(毎月決算型)	2017/10/02	26	—	■
9	ラップ向け先進国高格付国債ファンドII	2022/01/27	1	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・世界型(円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

03 外国債券・世界型(除く日本)

対象ファンド数 当社22ファンド/業界全体157ファンド

カテゴリの運用状況について

- カテゴリに属する当社ファンド22本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
▲3.3	4.5	4.2	1.9	0.81

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

特定の通貨等に偏ることなく、日本を除く世界の投資適格債券を主な投資対象とする。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	eMAXIS Slim 先進国債券インデックス(除く日本)	2017/02/27	1,678	—	■
2	eMAXIS 先進国債券インデックス(除く日本)	2009/10/28	182	—	■
3	ファンド・マネジャー(海外債券)	2007/10/31	0.02	—	■
4	三菱UFJ DC海外債券インデックスファンド	2006/05/15	417	—	■
5	三菱UFJ <DC>外国債券インデックスファンド	2001/12/18	46	—	■
6	三菱UFJ DC年金インデックス(先進国債券)	2018/09/26	99	—	■
7	三菱UFJ 外国債券オープン	2000/08/18	21	—	■
8	三菱UFJ 外国債券オープン(確定拠出年金)	2002/02/08	91	—	■
9	三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)	2002/08/29	399	—	■
10	三菱UFJ 世界国債インデックスファンド(年1回決算型)	2008/03/31	74	—	■
11	三菱UFJ 世界国債インデックスファンド(毎月分配型)	2007/04/19	10	—	■
12	ラップ向けインデックス f 先進国債券	2021/04/16	105	—	■
13	ワールド・インカムオープン	2003/04/24	24	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・世界型(除く日本)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	要改善 ファンド	当社HP
1	海外債券セレクション(ラップ向け)	2017/03/27	251	—	■
2	バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし>(年1回決算型)(愛称:みらいの港)	2013/07/31	29	—	■
3	バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)(愛称:みらいの港)	2013/07/31	38	—	■
4	三菱UFJ <DC>海外債券オープン	2001/10/18	33	—	■
5	三菱UFJ 海外債券オープン	2000/08/11	190	—	■
6	三菱UFJ 海外債券オープン(3ヵ月決算型)(愛称:四季の恵み(海外債券))	2002/02/05	135	—	■
7	三菱UFJ/マッコーリーグローバルインフラ債券ファンド<為替ヘッジなし>(隔月決算型)(愛称:世界のいしずえ)	2023/11/30	0.3	—	■
8	三菱UFJ/マッコーリーグローバルインフラ債券ファンド<為替ヘッジなし>(年1回決算型)(愛称:世界のいしずえ)	2018/01/22	175	—	■
9	三菱UFJ/マッコーリーグローバルインフラ債券ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)(愛称:世界のいしずえ)	2012/06/01	1,800	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。
各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・世界型(除く日本)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

04 外国債券・世界型 (除く日本、円ヘッジ)

対象ファンド数 当社7ファンド/業界全体87ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド7本のうち、競合他社比劣後しているファンドについて、パフォーマンスの要因やコスト対比リターン、商品性など多角的な分析を行った結果、要改善ファンドに該当すると判断したファンド1本について次ページ以降で詳細をご報告いたします。
- なお、その他(要改善ファンド以外)のファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
0.0	▲2.1	▲3.8	▲1.0	0.81

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

特定の通貨等に偏ることなく、日本を除く世界の投資適格債券を主な投資対象とする。原則として日本円以外の通貨は為替ヘッジを行う。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	eMAXIS 先進国債券インデックス(除く日本・為替ヘッジあり)	2016/07/01	10	—	■
2	ラップ向けインデックスf 先進国債券(為替ヘッジあり)	2022/01/06	78	—	■

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>(年1回決算型)(愛称:みらいの港)	2013/07/31	4	—	■
2	バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>(毎月決算型)(愛称:みらいの港)	2013/07/31	4	—	■
3	三菱UFJヘッジ付外国債券オープン	2012/07/20	40	●	■
4	三菱UFJ/マコーリーグローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり>(年1回決算型)(愛称:世界のいしずえ)	2018/01/22	16	—	■
5	三菱UFJ/マコーリーグローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり>(毎月決算型)(愛称:世界のいしずえ)	2012/06/01	118	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・世界型(除く日本、円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

三菱UFJ ヘッジ付外国債券オープン

以下URL(当社ホームページ)の個別ファンドページ内に、当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。当該ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
<https://www.am.mufg.jp/fund/260664.html>

1 ファンドの概要 (市況動向および資金動向等により、下記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。)

- 世界主要国(日本を除く)の公社債を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得および利子収益の確保をめざします。
- FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)をベンチマーク(運用成果の目標基準)とし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。
- 運用にあたっては、クオンツモデルを活用します。
- 原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替ヘッジにより、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

2 運用状況の振り返り

- 2021年以降の主要国中央銀行による金融引き締めによって主要国金利が上昇(債券価格は下落)し、ヘッジコストも上昇したことから、ヘッジ付外国債券運用には厳しい投資環境となりました。2024年以降、主要国では利下げが実施されヘッジコストも低下しつつあるものの、依然として主要国の長期金利は高止まりしており、ヘッジ付外国債券のパフォーマンスは概ね横這いで推移しました。
- このような環境下、カテゴリ平均およびベンチマークであるFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)を下回る投資成果となりました。運用に活用しているクオンツモデルの有効性について検証した結果、金利が上昇する局面で、価格下落の幅が大きい残存期間が長めの債券に多めに投資をしていたことなどによるパフォーマンスの悪化傾向が見られ、主に残存期間等の配分によるリスクの取り方に課題があることを確認しました。
- これを受けて、金利予測結果に基づくリスクの取り方の見直しなどについてのクオンツモデルの改修を2024年半ばに行いました。クオンツモデル改修後は、金利上昇局面における損失が限定的となるなど、ベンチマーク対比では下回るものの、足元のパフォーマンスは改善傾向にあります。

3 運用および商品性の改善に向けた取り組み状況

- 改修したクオンツモデルを引き続き活用することで、残存期間等の配分によるリスクの取り方に金利変化の見通しを反映した運用を行い、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- 引き続き、クオンツモデルのインプットデータの見直しやクオンツモデルの各制約条件の検証など、パフォーマンスの向上に向けて、クオンツモデルの継続的なモニタリングおよび改良を検討、実施していく方針です。

パフォーマンスと運用コスト

- 当ファンドは、外国債券・世界型(除く日本、円ヘッジ)カテゴリに属します。同カテゴリ平均リターンやベンチマークであるFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)を多くの期間で下回る状況です。
- コストは、同カテゴリ平均値を下回る水準です。

	設定日	純資産 総額 (億円)	リターン(%)					コスト (%)
			過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	設定来 (年率)	
三菱UFJ ヘッジ付外国債券オープン	2012/07/20	40	▲0.3	▲3.6	▲5.3	▲1.4	▲0.4	0.41
外国債券・世界型(除く日本、円ヘッジ) カテゴリ平均			0.0	▲2.1	▲3.8	▲1.0	▲0.5	0.81
FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)			0.2	▲2.9	▲4.6	▲0.9	▲0.1	

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※設定来リターンはファンド設定日の前営業日を起点に計算しております。コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。なお、リターンは税金を考慮していません。

※外国債券・世界型(除く日本、円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

※当社では要改善ファンドを特定するためのファンド提供価値の評価要素の一つとして、当社ファンドと同じカテゴリに所属するファンドとのコスト控除後のリターンについて、相対的な順位を確認しております。カテゴリの平均リターンおよび平均コストは相対的な順位のご参考としてお示ししているもので、当該ファンドとカテゴリ内の他ファンドとのパフォーマンスの優劣を示したり、当該ファンド売買の推奨もしくは勧誘等を目的とするものではありません。

※FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)は、外国債券市場の値動きをご説明するために記載しており、当該ファンドのベンチマークです。指数については巻末の【当資料で使用している指数について】をご覧ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

05 外国債券・米国型

対象ファンド数 当社6ファンド/業界全体76ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド6本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
▲6.2	3.9	4.8	2.9	0.88

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

米国ドル建ての米国投資適格債券を主な投資対象とする。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	MAXIS 米国国債1-3年上場投信(為替ヘッジなし)	2024/04/24	37	—	■
2	MAXIS 米国国債20年超上場投信(為替ヘッジなし)	2024/04/24	2	—	■
3	MAXIS 米国国債7-10年上場投信(為替ヘッジなし)	2021/12/09	109	—	■
4	三菱UFJ 米国債券オープン(毎月分配型)	2003/03/06	47	—	■

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	三菱UFJ/ピムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	2013/10/25	22	—	■
2	三菱UFJ/ピムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	2013/10/25	38	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。

各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・米国型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

06 外国債券・米国型(円ヘッジ)

対象ファンド数 当社4ファンド/業界全体48ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド4本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
▲0.9	▲3.0	▲4.3	▲1.3	0.87

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

米国ドル建ての米国投資適格債券を主な投資対象とする。原則として通貨は為替ヘッジを行う。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	MAXIS米国国債20年超上場投信(為替ヘッジあり)	2024/04/24	51	—	■
2	MAXIS米国国債7-10年上場投信(為替ヘッジあり)	2021/12/09	81	—	■

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	三菱UFJ/ピムコトータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>(年1回決算型)	2013/10/25	6	—	■
2	三菱UFJ/ピムコトータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>(毎月決算型)	2013/10/25	7	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・米国型(円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

07 外国債券・欧州型

対象ファンド数 当社2ファンド／業界全体13ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド2本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
1.3	6.3	4.0	1.4	1.12

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

欧州通貨建ての投資適格債券を主な投資対象とする。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	三菱UFJユーロ債券オープン(毎月分配型)	2003/01/09	19	—	■

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	ユーロランド・ソブリン・インカム	1998/08/28	43	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・欧州型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

08 外国債券・オセアニア型

対象ファンド数 当社7ファンド／業界全体40ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド7本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
▲5.9	3.5	4.3	1.5	1.27

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

オーストラリア、ニュージーランドの投資適格債券を主な投資対象とする。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	eMAXIS 豪州債券インデックス	2016/07/01	3	—	■

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	オーストラリアインカムオープン	2003/09/26	50	—	■
2	豪ドル年1回決算型ファンド	2017/08/30	35	—	■
3	豪ドル毎月分配型ファンド	2003/05/30	292	—	■
4	三菱UFJ オーストラリア債券ファンド(毎月分配型)〈愛称:夢満債(豪ドルコース)〉	2003/10/31	24	—	■
5	三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン(愛称:夢実月)	2003/03/14	338	—	■
6	三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン(年1回決算型)〈愛称:夢実月〉	2013/12/06	14	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・オセアニア型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

09 外国債券・単一国/地域

対象ファンド数 当社6ファンド/業界全体70ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド6本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
▲4.5	6.0	4.6	1.8	1.40

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

他のモーニングスター・カテゴリには分類されない特定の国や地域の債券を主な投資対象とする。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	インド債券オープン(年1回決算型)	2017/07/03	46	—	■
2	インド債券オープン(毎月決算型)	2011/08/19	137	—	■
3	国際インド債券オープン(毎月決算型)	2011/12/16	63	—	■
4	ブラデスコ ブラジル債券ファンド(成長重視型)	2008/11/07	5	—	■
5	ブラデスコ ブラジル債券ファンド(分配重視型)	2008/11/07	27	—	■
6	三菱UFJ インド債券オープン(毎月決算型)(愛称:インドの宝)	2012/06/18	33	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。

各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・単一国/地域カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

10 外国債券・ハイイールド型・グローバル

対象ファンド数 当社2ファンド／業界全体18ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド2本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト (%)
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	
▲1.1	9.4	9.1	4.7	1.61

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

世界の価格変動リスクが高い、投資適格未満の債券を主な投資対象とする。このカテゴリに分類されるファンドは、一般的に、他の債券型に比べて利回りは高いものの、景気や信用リスクの変動による価格変動リスクが大きい。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	要改善 ファンド	当社HP
1	ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド(毎月分配型)	2004/09/30	277	—	■
2	ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド	2003/08/08	616	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。
各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・ハイイールド型・グローバルカテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

11 外国債券・ハイイールド型・グローバル(円ヘッジ)

対象ファンド数 当社1ファンド/業界全体8ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
2.2	1.5	▲0.4	0.4	1.53

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

世界の価格変動リスクが高い、投資適格未満の債券を主な投資対象とする。原則として日本円以外の通貨は為替ヘッジを行う。このカテゴリに分類されるファンドは、一般的に、他の債券型に比べて利回りは高いものの、景気や信用リスクの変動による価格変動リスクが大きい。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド(為替ヘッジ付き)	2004/01/16	10	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・ハイイールド型・グローバル(円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

12 外国債券・ハイイールド型・米国

対象ファンド数 当社1ファンド／業界全体36ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
▲2.9	9.8	11.0	5.5	1.50

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

米国の価格変動リスクが高い、投資適格未満の債券を主な投資対象とする。このカテゴリに分類されるファンドは、一般的に、他の債券型に比べて利回りは高いものの、景気や信用リスクの変動による価格変動リスクが大きい。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	2010/09/27	24	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。

各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・ハイイールド型・米国カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

13 外国債券・ハイイールド型・米国 (円ヘッジ)

対象ファンド数 当社1ファンド/業界全体26ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン (%)				コスト (%)
過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	
2.7	2.6	1.4	1.1	1.63

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

米国の価格変動リスクが高い、投資適格未満の債券を主な投資対象とする。原則として日本円以外の通貨は為替ヘッジを行う。このカテゴリに分類されるファンドは、一般的に、他の債券型に比べて利回りは高いものの、景気や信用リスクの変動による価格変動リスクが大きい。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド (インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名 (アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	要改善ファンド	当社HP
1	米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	2010/09/27	7	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書 (交付目論見書) および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。

各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・ハイイールド型・米国 (円ヘッジ) カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

14 外国債券・ハイイールド型・欧州

対象ファンド数 当社1ファンド／業界全体10ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
4.7	12.9	10.7	4.9	1.95

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

欧州の価格変動リスクが高い、投資適格未満の債券を主な投資対象とする。このカテゴリに分類されるファンドは、一般的に、他の債券型に比べて利回りは高いものの、景気や信用リスクの変動による価格変動リスクが大きい。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)(愛称:ユーロ・スピリッツ)	2012/06/15	35	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・ハイイールド型・欧州カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

15 外国債券・ハイイールド型・欧州(円ヘッジ)

対象ファンド数 当社1ファンド/業界全体10ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
3.2	3.9	1.9	2.1	1.96

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

欧州の価格変動リスクが高い、投資適格未満の債券を主な投資対象とする。原則として日本円以外の通貨は為替ヘッジを行う。このカテゴリに分類されるファンドは、一般的に、他の債券型に比べて利回りは高いものの、景気や信用リスクの変動による価格変動リスクが大きい。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)(愛称:ユーロ・スピリッツ)	2012/06/15	19	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。

各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・ハイイールド型・欧州(円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

16 外国債券・バンクローン型

対象ファンド数 当社5ファンド/業界全体10ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド5本のうち、競合他社比劣後しているファンドについて、パフォーマンスの要因やコスト対比リターン、商品性など多角的な分析を行った結果、要改善ファンドに該当すると判断したファンド2本について次ページ以降で詳細をご報告いたします。
- なお、その他(要改善ファンド以外)のファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
▲4.7	9.0	11.0	4.7	1.85

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

世界の優先担保付きローンを主な投資対象とする。優先担保付きローンは、相対的に信用力が低い投資適格未満の企業に対する貸付債権であるため、一般的な短期債券などに比べて相対的に高い利回りが期待できる。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	2014/05/27	31	●	■
2	米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	2014/05/27	100	●	■
3	米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(資産成長型)(愛称:USストリーム)	2017/05/08	2	—	■
4	米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(毎月分配型)(愛称:USストリーム)	2013/12/09	37	—	■
5	三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)(愛称:スマートスター)	2013/10/15	46	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・バンクローン型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型) / (年1回決算型)

以下URL(当社ホームページ)の個別ファンドページ内に、当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。当該ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

<https://www.am.mufg.jp/fund/252053.html> / <https://www.am.mufg.jp/fund/252072.html>

1 ファンドの概要 (市況動向および資金動向等により、下記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。)

- 主として円建外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての米国企業向けバンクローン(貸付債権)等に実質的な投資を行います。米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等にも投資を行います。
- 投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。
- 投資対象とする円建外国投資信託の運用は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー(以下、ウエスタン社)が行います。
- 円建外国投資信託等への投資にあたり、ウエスタン社の日本拠点であるウエスタン・アセット・マネジメント株式会社の投資助言を受けます。
- 原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

2 運用状況の振り返り

- 当ファンドは、相対的に保守的な銘柄構成となっており、バンクローン市況の下落局面ではパフォーマンスが同カテゴリ比で良好となりやすい一方、バンクローン市況の上昇局面では劣後する傾向がありました。
- 上記の保守的な銘柄構成から、ファンド設定後、2016年～2017年の景気回復局面や、2020年前半のコロナ禍からの回復局面において、バンクローン相場の上昇に追従できませんでした。また、2023年の米国の利上げ局面ではヘルスケアセクターへの銘柄選択において、コロナ禍以降の件費上昇等を背景に保有銘柄の一部が格下げとなり価格が下落したことなどもパフォーマンスの悪化要因となりました。
- 過去1年間では、一般消費財セクターおよび生活必需品セクター等における銘柄選択がプラスに寄与した結果、同期間においてカテゴリ平均を上回るなど足元のパフォーマンスは改善傾向にあります。

3 運用および商品性の改善に向けた取り組み状況

- 2019年2月に運用主担当者が交代して以降、局面に応じてBBB格、BB格への投資比率を減らし、B格への投資比率を引き上げるなど、市況見通しに応じて、これまで以上に機動的に信用リスク(クレジットリスク)のコントロールを行ってきました。コロナ禍以降、積極的な銘柄選択がマイナスとなる局面もありましたが、直近1年では銘柄選択が奏功し改善傾向にあります。
- 業種および発行体の分散による信用リスク管理に引き続き注力しつつも、更なる運用改善に向けては、投資先ファンドの運用会社であるウエスタン社と協議を重ね、2025年7月末以降、保有銘柄に格下げが生じた際のポートフォリオ調整手法の改善を実施しております。
- 今後も、投資成果の向上に向けた取り組みを継続してまいります。

パフォーマンスと運用コスト

- 当ファンドは、外国債券・バンクローン型カテゴリに属します。同カテゴリ平均リターンを1年や5年では上回っていますが、3年や10年、設定来では下回る状況です。
- コストは、同カテゴリ平均値を上回る水準です。

	設定日	純資産 総額 (億円)	リターン(%)					コスト (%)
			過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	設定来 (年率)	
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	2014/05/27	100	▲4.1	8.6	11.1	4.1	5.3	2.22
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	2014/05/27	31	▲4.1	8.6	11.1	4.1	5.3	1.94
外国債券・バンクローン型 カテゴリ平均			▲4.7	9.0	11.0	4.7	6.0	1.85

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※設定来リターンはファンド設定日の前営業日を起点に計算しております。コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。なお、リターンは税金を考慮していません。

※外国債券・バンクローン型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

※当社では要改善ファンドを特定するためのファンド提供価値の評価要素の一つとして、当社ファンドと同じカテゴリに所属するファンドとのコスト控除後のリターンについて、相対的な順位を確認しております。カテゴリの平均リターンおよび平均コストは相対的な順位のご参考としてお示ししているもので、当該ファンドとカテゴリ内の他ファンドとのパフォーマンスの優劣を示したり、当該ファンド売上の推奨もしくは勧誘等を目的とするものではありません。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

17 外国債券・バンクローン型(円ヘッジ)

対象ファンド数 当社5ファンド/業界全体10ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド5本のうち、競合他社比劣後しているファンドについて、パフォーマンスの要因やコスト対比リターン、商品性など多角的な分析を行った結果、要改善ファンドに該当すると判断したファンド2本について次ページ以降で詳細をご報告いたします。
- なお、その他(要改善ファンド以外)のファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
0.8	1.9	1.5	0.4	1.86

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

世界の優先担保付きローンを主な投資対象とする。原則として日本円以外の通貨は為替ヘッジを行う。優先担保付きローンは、相対的に信用力が低い投資適格未滿の企業に対する貸付債権であるため、一般的な短期債券などに比べて相対的に高い利回りが期待できる。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(年1回決算型)	2014/05/27	13	●	■
2	米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(毎月決算型)	2014/05/27	18	●	■
3	米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり>(資産成長型)(愛称:USストリーム)	2017/05/08	1	—	■
4	米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり>(毎月分配型)(愛称:USストリーム)	2013/12/09	8	—	■
5	三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)(愛称:スマートスター)	2013/10/15	12	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・バンクローン型(円ヘッジ) カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / (年1回決算型)

以下URL(当社ホームページ)の個別ファンドページ内に、当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。当該ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

<https://www.am.mufg.jp/fund/252048.html> / <https://www.am.mufg.jp/fund/252067.html>

1 ファンドの概要 (市況動向および資金動向等により、下記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。)

- 主として円建外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての米国企業向けバンクローン(貸付債権)等に実質的な投資を行います。米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等にも投資を行います。
- 投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。
- 投資対象とする円建外国投資信託の運用は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー(以下、ウエスタン社)が行います。
- 円建外国投資信託等への投資にあたり、ウエスタン社の日本拠点であるウエスタン・アセット・マネジメント株式会社の投資助言を受けます。
- 原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

2 運用状況の振り返り

- 当ファンドは、相対的に保守的な銘柄構成となっており、バンクローン市況の下落局面ではパフォーマンスが同カテゴリ比で良好となりやすい一方、バンクローン市況の上昇局面では劣後する傾向がありました。
- 上記の保守的な銘柄構成から、ファンド設定後、2016年～2017年の景気回復局面や、2020年前半のコロナ禍からの回復局面において、バンクローン相場の上昇に追従できませんでした。また、2023年の米国の利上げ局面ではヘルスケアセクターへの銘柄選択において、コロナ禍以降の件費上昇等を背景に保有銘柄の一部が格下げとなり価格が下落したことなどもパフォーマンスの悪化要因となりました。
- 過去1年間では、一般消費財セクターおよび生活必需品セクター等における銘柄選択がプラスに寄与した結果、同期間においてカテゴリ平均を上回るなど足元のパフォーマンスは改善傾向にあります。

3 運用および商品性の改善に向けた取り組み状況

- 2019年2月に運用主担当者が交代して以降、局面に応じてBBB格、BB格への投資比率を減らし、B格への投資比率を引き上げるなど、市況見通しに応じて、これまで以上に機動的に信用リスク(クレジットリスク)のコントロールを行ってきました。コロナ禍以降、積極的な銘柄選択がマイナスとなる局面もありましたが、直近1年では銘柄選択が奏功し改善傾向にあります。
- 業種および発行体の分散による信用リスク管理に引き続き注力しつつも、更なる運用改善に向けては、投資先ファンドの運用会社であるウエスタン社と協議を重ね、2025年7月末以降、保有銘柄に格下げが生じた際のポートフォリオ調整手法の改善を実施しております。
- 今後も、投資成果の向上に向けた取り組みを継続してまいります。

パフォーマンスと運用コスト

- 当ファンドは、外国債券・バンクローン型(円ヘッジ)カテゴリに属します。同カテゴリ平均リターンを1年や5年では上回っていますが、3年や10年、設定来では下回る状況です。
- コストは、同カテゴリ平均値を上回る水準です。

	設定日	純資産 総額 (億円)	リターン(%)					コスト (%)
			過去1年	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去10年 (年率)	設定来 (年率)	
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(毎月決算型)	2014/05/27	18	1.7	1.5	1.6	▲0.1	▲0.1	2.21
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(年1回決算型)	2014/05/27	13	1.7	1.5	1.6	▲0.1	▲0.1	1.94
外国債券・バンクローン型(円ヘッジ) カテゴリ平均			0.8	1.9	1.5	0.4	0.4	1.86

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※設定来リターンはファンド設定日の前営業日を起点に計算しております。コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。なお、リターンは税金を考慮していません。

※外国債券・バンクローン型(円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

※当社では要改善ファンドを特定するためのファンド提供価値の評価要素の一つとして、当社ファンドと同じカテゴリに所属するファンドとのコスト控除後のリターンについて、相対的な順位を確認しております。カテゴリの平均リターンおよび平均コストは相対的な順位のご参考としてお示ししているもので、当該ファンドとカテゴリ内の他ファンドとのパフォーマンスの優劣を示したり、当該ファンド売上の推奨もしくは勧誘等を目的とするものではありません。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

18 外国債券・新興国型・グローバル

対象ファンド数 当社9ファンド／業界全体32ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド9本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
▲2.4	9.7	7.3	4.2	1.34

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

単一国または特定地域に特化せず、幅広い新興国の債券を主な投資対象とする。このカテゴリに分類されるファンドは一般的に米ドル等の国際決済通貨建て債券に投資するが、現地通貨建ての債券に投資することもある。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(年2回分配型)	2013/02/20	0.5	—	■
2	PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	2011/02/16	9	—	■
3	エマージング・ソブリン・オープン(1年決算型)	2003/08/08	166	—	■
4	エマージング・ソブリン・オープン(資産成長型)(愛称:エマソブN)	2013/11/06	56	—	■
5	エマージング・ソブリン・オープン(毎月決算型)	2003/08/08	199	—	■
6	グローバル・エマージング・ボンド・オープン(愛称:受取物語)	1998/07/31	133	—	■
7	ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース(為替ヘッジなし)	2005/03/04	64	—	■
8	三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)(愛称:グローイング・スター)	2011/09/21	10	—	■
9	三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	2009/04/28	37	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・新興国型・グローバルカテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

19 外国債券・新興国型・グローバル(現地通貨建て)

対象ファンド数 当社3ファンド／業界全体50ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド3本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
▲0.4	8.4	7.2	2.4	1.22

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

単一国または特定地域に特化せず、幅広い新興国の現地通貨建て債券を主な投資対象とする。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	eMAXIS 新興国債券インデックス	2010/09/13	62	—	■
2	三菱UFJ DC新興国債券インデックスファンド	2010/10/29	252	—	■
3	ラップ向けインデックス f 新興国債券	2021/04/16	41	—	■

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・新興国型・グローバル(現地通貨建て)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

20 外国債券・新興国型・グローバル(円ヘッジ)

対象ファンド数 当社8ファンド/業界全体23ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド8本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
2.8	1.9	▲2.3	▲0.4	1.59

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

単一国または特定地域に特化せず、幅広い新興国の債券を主な投資対象とする。このカテゴリに分類されるファンドは一般的に米ドル等の国際決済通貨建て債券に投資するが、現地通貨建ての債券に投資することもある。原則として日本円以外の通貨は為替ヘッジを行う。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	eMAXIS 新興国債券インデックス(為替ヘッジあり)	2016/07/01	18	—	■

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	PIMCO ニューワールド円インカムファンド(年2回分配型)	2013/02/20	0.2	—	■
2	PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	2011/02/16	41	—	■
3	エマージング・ソブリン・オープン(資産成長型) 為替ヘッジあり(愛称:エマヘッジN)	2013/11/06	21	—	■
4	エマージング・ソブリン・オープン(毎月決算型) 為替ヘッジあり	2009/03/18	74	—	■
5	ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース(為替ヘッジあり)	2005/03/04	40	—	■
6	三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)(愛称:グローイング・スター)	2011/09/21	21	—	■
7	三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	2009/04/28	16	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・新興国型・グローバル(円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

21 外国債券・新興国型・アジア

対象ファンド数 当社3ファンド／業界全体10ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド3本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
▲3.0	6.7	5.8	3.1	1.90

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

アジアの新興国の債券を主な投資対象とする。このカテゴリに分類されるファンドは一般的に米ドル等の国際決済通貨建て債券に投資するが、現地通貨建ての債券に投資することもある。単一国または特定の地域(サブリージョン)のみへ投資するファンドは、外国債券・単一国/地域に分類される。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	アジア・ソブリン・オープン(毎月決算型)	2009/09/28	15	—	■
2	アジア・パシフィック・ソブリン・オープン(年2回決算型)	2009/01/16	4	—	■
3	アジア・パシフィック・ソブリン・オープン(毎月決算型)	2009/01/16	58	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・新興国型・アジアカテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

22 外国債券・短期型

対象ファンド数 当社5ファンド／業界全体11ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド5本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
▲2.4	5.1	5.4	1.9	0.87

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

世界の政府債券、コマーシャルペーパーなどの短期債券を主な投資対象とする。このカテゴリに分類されるファンドは、他のタイプの債券ファンドに比べて金利変動リスクは低いものの、為替変動リスクは伴うことがある。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	世界好利回り短期債券ファンド(毎月決算型)〈愛称:キュート〉	2006/12/20	20	—	■
2	ピムコ ショートターム・インカム・ファンド(為替ヘッジなし)	2017/06/14	16	—	■
3	ピムコ ショートターム・インカム・ファンド(為替リスク軽減型)	2017/06/14	92	—	■
4	ピムコ 短期戦略プラス・オープン(為替リスク軽減型)	2017/07/31	0.2	—	■
5	ワールド短期ソブリンオープン	2004/08/23	41	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・短期型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

23 外国債券・転換社債型

対象ファンド数 当社1ファンド／業界全体14ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
0.3	6.4	6.2	3.4	1.49

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

世界の転換社債型新株予約権付社債を主な投資対象とする。世界の転換社債市場の傾向から、このカテゴリに分類されるファンドは、米ドルのエクスポージャーを多めに持つ傾向がある。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	先進国好利回りCBファンド2023-03(為替ヘッジなし)(限定追加型)	2023/03/10	107	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。

各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・転換社債型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

24 外国債券・転換社債型(円ヘッジ)

対象ファンド数 当社1ファンド/業界全体19ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
2.4	1.6	0.1	0.9	1.47

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

世界の転換社債型新株予約権付社債を主な投資対象とする。世界の転換社債市場の傾向から、このカテゴリに分類されるファンドは、米ドルのエクスポージャーを多めに持つ傾向があるが、原則として日本円以外の通貨は為替ヘッジを行う。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	先進国好利回りC B ファンド2023-03(為替ヘッジあり)(限定追加型)	2023/03/10	174	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。

各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※外国債券・転換社債型(円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

25 債券・その他

対象ファンド数 当社24ファンド/業界全体171ファンド

カテゴリの運用状況について

- 当カテゴリに属する当社ファンド24本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
- なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
0.5	8.6	7.6	2.9	1.82

出所: Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成

※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。

※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

世界の債券を主な投資対象とするものの、他の債券型のモーニングスター・カテゴリに該当しないファンドが分類される。例として、為替オーバーレイやカバードコールなど様々な投資戦略を同時に活用しているファンドなどが含まれる。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。

各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※債券・その他カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額 (億円)	要改善 ファンド	当社HP
1	PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(年2回分配型)	2014/06/24	13	—	■
2	PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	2014/06/24	89	—	■
3	PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(年2回分配型)	2013/02/20	0.2	—	■
4	PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	2011/03/31	35	—	■
5	PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>(年2回分配型)	2013/07/01	0.2	—	■
6	PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	2013/07/01	17	—	■
7	PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(年2回分配型)	2013/02/20	0.2	—	■
8	PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	2011/03/31	1	—	■
9	PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース>(年2回分配型)	2013/02/20	2	—	■
10	PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース>(毎月分配型)	2013/01/16	34	—	■
11	米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	2010/09/27	11	—	■
12	米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)トルコ・リラコース(毎月決算型)	2011/08/12	16	—	■
13	米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	2010/09/27	18	—	■
14	三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)(愛称:ユーロスター・プレミアム)	2012/06/15	49	—	■
15	三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>(毎月分配型)(愛称:グローイング・スター)	2011/09/21	3	—	■
16	三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)(愛称:グローイング・スター)	2011/09/21	6	—	■
17	三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)(愛称:グローイング・スター)	2011/09/21	4	—	■
18	三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)(愛称:グローイング・スター)	2013/05/29	9	—	■
19	三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)(愛称:グローイング・スター)	2011/09/21	83	—	■
20	三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>(毎月分配型)(愛称:グローイング・スター)	2013/05/29	5	—	■
21	三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	2009/04/28	63	—	■
22	三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	2009/04/28	182	—	■
23	三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)(愛称:スマートスター)	2013/10/15	10	—	■
24	三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム(毎月分配型)(愛称:スマートスター・プレミアム)	2014/07/31	18	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。
各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※債券・その他カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

当資料に関するご留意事項等

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、三菱UFJアセットマネジメントのプロダクトガバナンス活動に関して当社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- 当資料は勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。販売会社は当社ホームページでご確認いただけます。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。

当資料で使用する指数について

- FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース):同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

モーニングスター・カテゴリについて

©2025 Morningstar. All Rights Reserved. ここに含まれる情報は、(1) Morningstarおよび/またはその関連会社またはコンテンツ提供者の専有財産であり、(2) 複製、改作または配布してはならず、(3) 正確性、完全性または適時性を保証するものではなく、(4) 投資、税務、法務あるいはその他を問わず、いかなる助言を構成するものではありません。ユーザーは、この情報の使用が、適用されるすべての法律、規制、および制限に準拠していることを確認する責任を単独で負います。Morningstarおよびそのコンテンツ提供者のいずれも、この情報の使用から生ずるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

設定・運用

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会／一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

三菱UFJアセットマネジメントのお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル **0120-151034** ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>
(受付時間／営業日の9:00～17:00)